

3月1日、組合議会は平成30年第1回定例会を清掃センター会議室で開催し、平成30年度一般会計予算及び平成29年度補正予算などを審議し、全ての議案を全会一致で可決しました。

**平成30年度一般会計予算 歳入歳出総額 4億7761万円** (前年対比2.4%増) 1125万円増

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	3億4500万円 (上毛町7442万円)	議会費	145万円
使用料及び手数料	8853万円 (廃棄物処理手数料)	総務費	1172万円 (人件費など)
財産収入	2619万円 (資源物売却収入)	衛生費	3億6107万円 (人件費・塵芥処理費)
繰入金	1600万円 (財政調整基金)	公債費	1億236万円 (リサイクルセンター建設事業債)
繰越金	100万円 (前年度繰越金)		

**平成29年度補正予算(第1号) 365万円追加** (補正後の歳入歳出総額 4億7001万円)

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
使用料及び手数料	△2843万円 (廃棄物処理手数料)	総務費	101万円 (財政調整基金)
財産収入	419万円 (資源物売却収入)	衛生費	264万円 (清掃総務費・塵芥処理費)
繰入金	1961万円 (前年度繰越金)		※ごみ処理施設整備基金699万円
諸収入	828万円 (有償入札拠出金など)		

**ごみ処理手数料改定**

4月1日から清掃センターに直接搬入した場合のごみ処理手数料が改定されました。

- 樹木・草などの破碎処理(チップ化)した物を持ち帰る場合 10kgにつき100円
  - 上記以外の樹木・草など ..... 10kgにつき200円
  - 事業活動に伴い生じた一般廃棄物 ..... 10kgにつき200円
- ※別途消費税が加算されます。

2月22日、組合議会は吉富町フォー・ユー会館会議室で平成30年第1回定例会を開催し、平成29年度補正予算及び平成30年度当初予算などを審議し、全ての議案を全会一致で可決しました。

**平成30年度一般会計予算 歳入歳出総額 7182万円** (前年対比△4.4%) △329万円

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	6702万円 (上毛町3508万円)	議会費	43万円
使用料及び手数料	459万円 (火葬場・し尿処理場使用料)	総務費	1908万円 (人件費など)
財産収入	16万円 (建設基金利子)	し尿処理場管理費	3851万円
		火葬場管理費	1326万円

**平成29年度補正予算(専決第1号) 250万円追加** (補正後の歳入歳出総額 7761万円)

歳出は、し尿処理場の汚泥乾燥施設(ドラムに亀裂・16年経年劣化による)修繕料追加

**平成29年度補正予算(第1号) 187万円追加** (補正後の歳入歳出総額 7949万円)

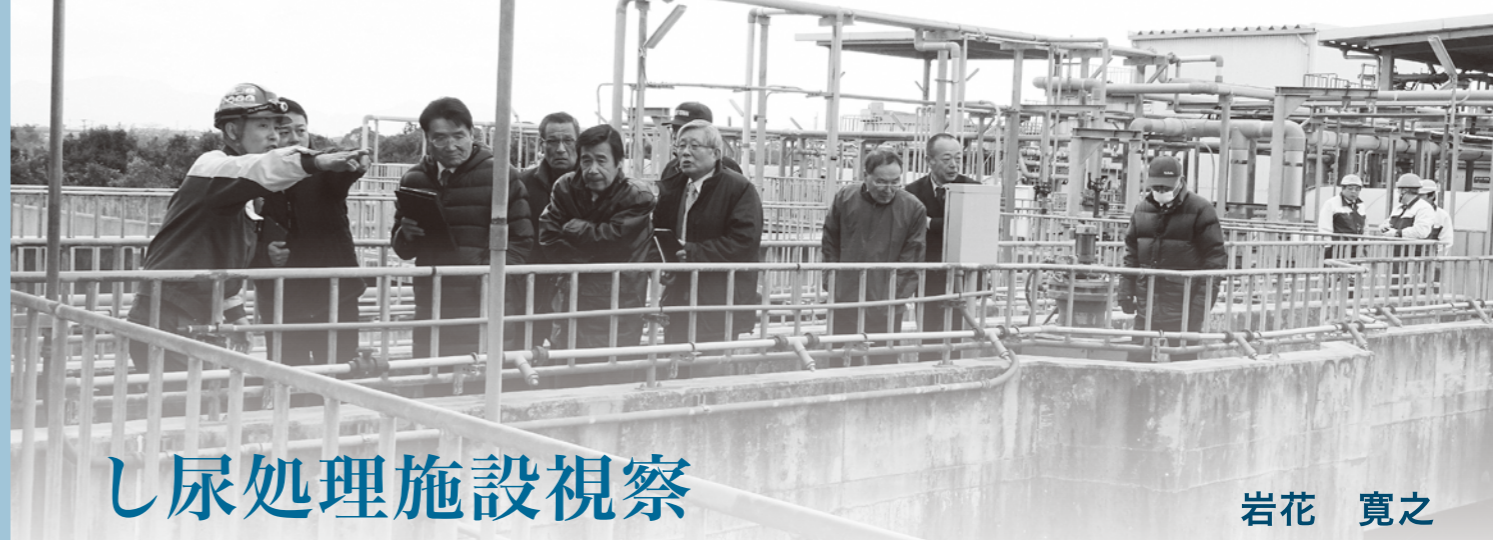
歳出は、し尿処理施設建設基金積立金584万円・需用費△10万円・委託料△155万円・し尿処理場管理費不用見込み額△120万円、火葬場管理費不用見込み額△111万円

**● 議会終了後、し尿処理場更新計画について全員協議会が開催された。**

(現在の状況)

更新計画に伴い本組合で建設するか、豊前広域環境施設組合に加入するかを協議してきたが方向性は決まっていない。豊前広域環境施設組合では、1年前に築上町、平成30年3月31日にみやこ町が脱退、組合を解散し4月から豊前市が単独でし尿処理を行うことになっている。

今後、豊前市は計画している処理方法(し尿を受け入れし下水道管に投入・下水道処理場で処理・新規施設建設)と(同方式での既存施設の一部改修)の2案を比較検討し6月末頃までに、決定するという事になっている。その後、吉富・上毛両町に加入の意向について確認があるという報告があった。今後の動向を見極め、検討の必要がある。



**し尿処理施設視察**

岩花 寛之

議会全員協議会において、1月29日(月)にダイハツ九州(株)、2月15日(木)に豊前広域環境センターのし尿処理施設の視察を行った。

ダイハツ九州(株)では民間企業における排水処理の状況や管理体制を学ぶことができた。塗装排水、作業排水、生活排水という3つの排水の合計は3000m<sup>3</sup>/日にも及び、工場内の処理施設において4次の処理を行い、瀬戸内海環境保全特別措置法の求める高い処理基準を満たした処理を行っている。

上毛町は吉富町と共に一部事務組合を組織しているが、その処理量はわずかに25m<sup>3</sup>/日である。ダイハツ九州の処理量とは単純には比較できないが、処理基準、管理基準は同じであり、民間企業のコスト意識と管理に対する意識の高さは大変参考になった。

豊前環境センターは125m<sup>3</sup>/日の処理が可能となっており、現在上毛町と吉富町で運営するし尿処理施設「周防苑」とは設備内容が大きく違っていたことに驚いた。現在豊前市では、みやこ町と築上町の脱退後の運営方法と、将来の処理方法の検討を行っている。

上毛町、吉富町に加入の打診が来ており、イニシャルコスト、ランニングコスト、運営形態などを慎重に検討し、将来にわたって安心できる処理方法を決定しなければならないと強く感じた。



総務産業建設常任委員会 活動報告

**上毛町商工会との懇談会**

委員長 宮崎昌宗

3月28日(水)、穴田会長をはじめ上毛町商工会役員6名と懇談会を行った。商工会側からは、商工会の概要として町内事業者の入会状況や、会員事業者の内訳や課題、国の承認を受けた経営発達支援事業の内容などの説明を受けた。また委員会側からは、平成30年度の本町の予算内容や主要施策の説明を行った。

その後

- ・ 人材や商工業者の育成に対する要望
  - ・ 若者の声を聞いて町政に生かしてほしい
  - ・ 上毛町の知名度不足や、上毛町のマップを自作した好事例
  - ・ 道の駅のありかたや活用方法、PRや目玉商品
  - ・ 人口問題や宅地問題、働く場所の問題
- など活発な意見交換を行った。

また、お互いの町発展を願う者同士として、定期的な意見交換や合同で先進地視察を行い、地域を活性化していく取り組みを行うことを確認した。

